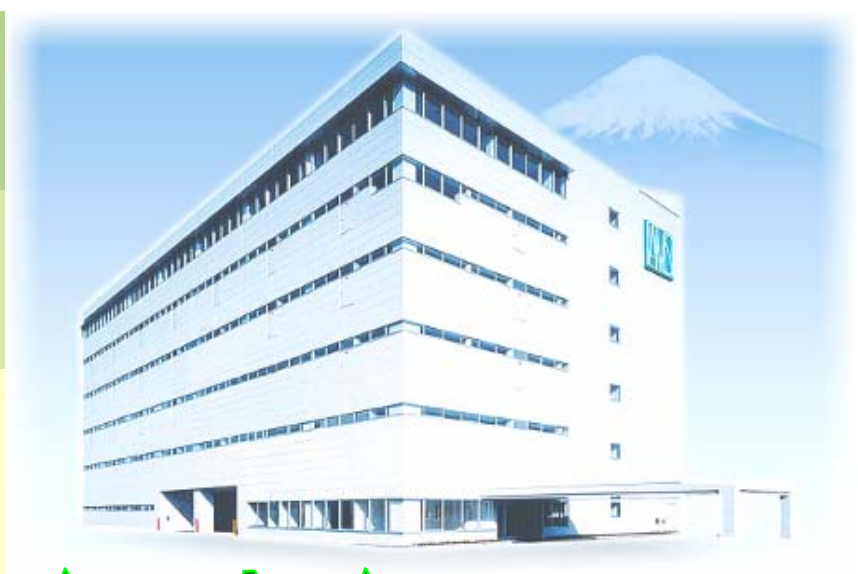




AMS Life Science Co., Ltd.

健康食品 & 化粧品の総合メーカー

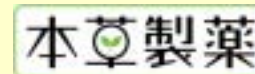


株式会社 アムスライフサイエンス

会社説明会用 資料 (2007/07)



証券コード : 2927



日本予防医学研究所



正直村

弊社グループ取り扱い品目



健康食品・化粧品・食品・雑貨



北海道地区導入店舗（ツルドラッグ、サンドラッグ 他）



正直村

自然食品



北海道地区導入店舗（十勝正直村）



医薬品(医療用及び一般薬局向け)・ヘルスケア商品・食品・雑貨



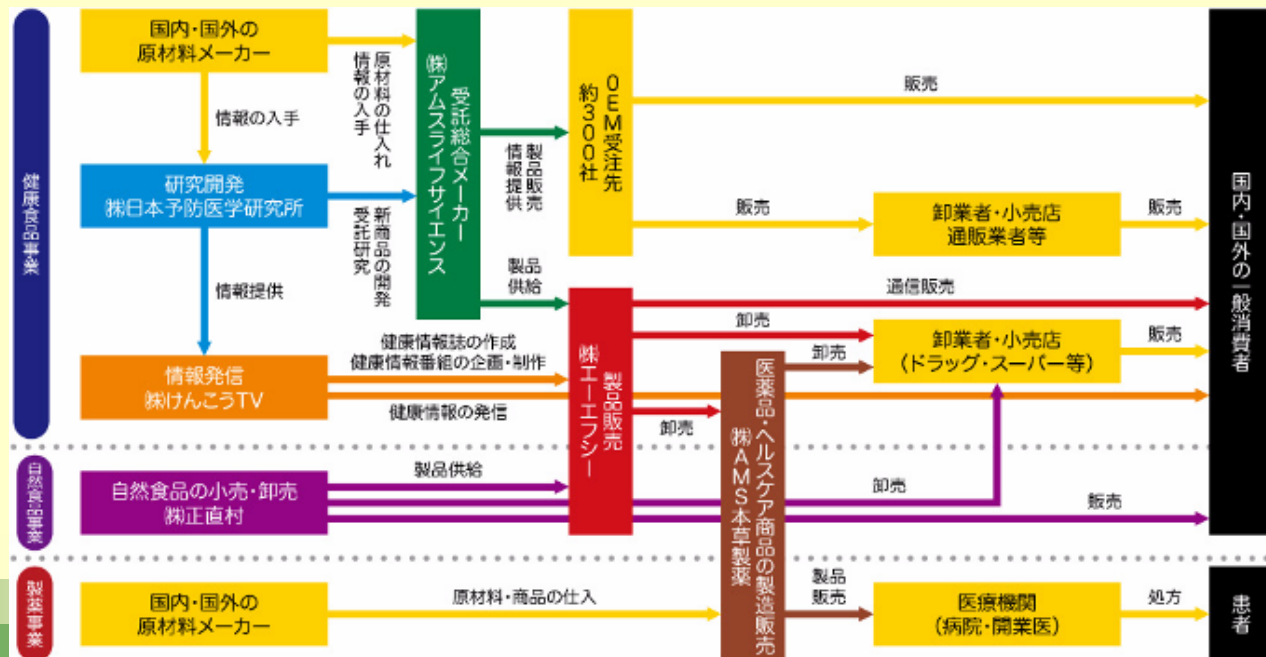
北海道地区導入店舗（ツルドラッグ、サッポロドラッグストア、アインズ 他）

グループ事業内容と系統図

事業の内容



事業系統図



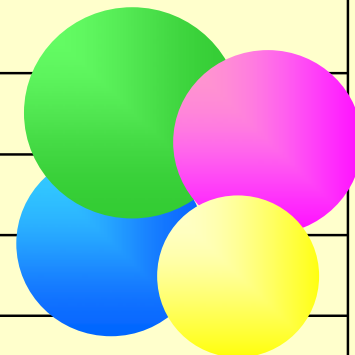


健康食品・化粧品の受託製造 (約300社のOEM先)


アムスライフサイエンス会社概要

<http://www.ams-life.com/>

社名	株式会社アムスライフサイエンス
事業内容	健康食品・化粧品の受託総合(OEM)メーカー
所在地	〒422 - 8027 静岡県静岡市駿河区豊田3丁目6番36号
資本金	13億9,907万5,893円 (平成19年2月末現在)
代表取締役会長	浅山 忠彦 (グループCEO)
代表取締役社長	浅山 雄彦
創業	1969年 6月8日
従業員数	108名(平成19年2月末、パート・アルバイト除く)
関係会社	株式会社 エーエフシー (健康食品・化粧品の通信販売・卸売販売) 株式会社 日本予防医学研究所 (健康情報の収集と健康食品の研究開発) 株式会社 けんこうTV (健康情報番組・健康情報誌の企画制作) 本草製薬 株式会社 (医薬品及びヘルスケア商品の製造・販売) 6/1より 株式会社 正直村 (自然食品の小売・卸売) 6/1より



会社沿革

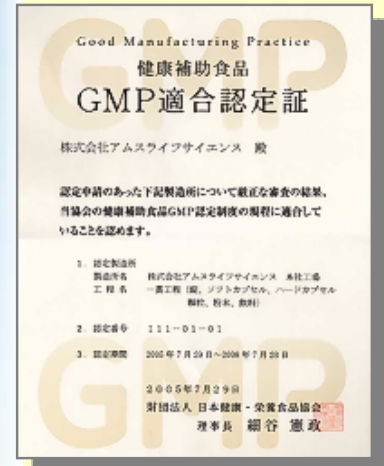
- 1969年 6月 静岡市に「あさやま商事」を創業。(創業38年)
- 1980年12月 健康食品製造部門として、「味王食品株式会社」を設立。
- 1982年 2月 新たに健康食品の通信販売部門として「あさやまファミリークラブ」(現 株式会社エーエフシー)を創業。
- 1995年11月 健康食品の研究・商品企画を目的に味王食品株式会社の工場内に「日本予防医学研究所」を併設。
- 2001年 1月 静岡市豊田の新工場落成を機に社名を「株式会社アムスライフサイエンス」とする。
- 2004年 9月 健康情報の発信を目的として子会社「株式会社けんこうTV」を設立。
- 2005年 3月 3日 ジャスダック上場  証券コード：2927
- 2005年 7月 業務拡張のため、株式会社エーエフシーの本社機能を備えた、「株式会社アムスライフサイエンス第二工場」を新設。
日健栄協GMPの認定取得
- 2007年 6月 **事業譲渡により本草製薬株式会社及び株式会社正直村を子会社化**

アムスライフサイエンス本社工場

所在地: 静岡県静岡市駿河区豊田3丁目6番36号

土地面積: 1,200坪

延床面積: 7,609m², 6階建



2005年7月取得
日健栄協GMP認定証

- ・商品の企画提案から製品化まで、トータルプロデュース
- ・最新設備により、あらゆるニーズに対応した商品の提供
- ・最新の生産管理システムにより、短納期で製造

GMPとは、Good Manufacturing Practiceの略で「適正製造規範」といい、医薬品は法制化されています。

6



健康食品 & 自然派化粧品の通販・卸売 (会員 約100万人)

(株)エーエフシー

<http://www.afc-shop.com/>



所在地	静岡県静岡市駿河区豊田2丁目4番3号
資本金	2億円(当社の100%子会社)
法人設立	平成5年8月25日
従業員数	84名



【事業内容】

- ・新聞広告、インターネット、会員様向けDMによる通信販売(会員数 約100万人)
新聞広告やネットで新規顧客を開拓し、DM発送により既存顧客のサポート
- ・大手問屋、代理店を通じた卸売販売(日本全国の小売店約6,000店舗に導入)
- ・海外の代理店を通しての販売(台湾、香港、シンガポール)
- ・AFCブランドの商品は、健康食品 & 自然派化粧品で約300種類
- ・雑貨、その他、約200アイテムを含めると全500種類以上

創業天保2年の老舗総合漢方薬メーカー



本草製薬(株)

<http://www.honzo.co.jp/>



天白工場



山下工場



緑工場



犬山工場



藤前物流センター

所在地	愛知県名古屋市天白区古川町125番地
資本金	1億円(当社の100%子会社)
法人設立	平成19年2月5日
従業員数	140名



[事業内容]

- ・医療用及び一般薬局向け漢方製剤の製造・販売
- ・ヘルスケア商品(化粧品を含む)の製造・販売
- ・食品・雑貨の販売

医療用漢方製剤 40品目

薬局向け商品(OTC) 10品目

食品、雑貨、その他





健康・安心・環境に配慮したおいしい自然食品

(株)正直村

<http://www.shojikimura.co.jp/>



所在地	埼玉県北本市西高尾五丁目237番地
資本金	3,600万円(当社の子会社)
法人設立	昭和55年9月1日
従業員数	14名
事業内容	自然食品の小売・卸売
主な事業所	東武池袋店、松屋銀座店、松屋浅草店 松坂屋上野店、松坂屋名古屋店 松坂屋高槻店、ロビンソン小田原店 東急青葉台店



伝統製法・無農薬・減農薬・無添加
健康・安心・環境に配慮・美味しい



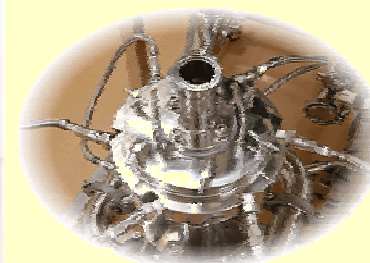
科学的根拠に基づいた健康食品 & 化粧品の研究開発

(株)日本予防医学研究所

<http://nyk-labo.com/>



所在地	静岡県静岡市駿河区豊田三丁目6番36号
資本金	1億円(当社の100%子会社)
法人設立	昭和58年9月28日
従業員数	7名



製造併用型微粉碎機 (2007/1 導入)

[事業内容]

- ・情報収集、商品開発、製剤化研究
- ・産学連携による安全性・有効性(代謝・吸収など)、エビデンスの追究
- ・最新鋭の試製実験設備による精度アップと納期の短縮
- ・商品マニュアルの制作

静岡県立大学との産学連携の研究結果より上記のエビデンス(科学的根拠)が証明された、究極 糖下

特許出願中

(特願:2006-167353)

2006/6/16 申請受理





確かな美容と健康情報の発信基地

(株)けんこうTV

<http://www.kenkotv.com/>

所在地	静岡県静岡市駿河区曲金二丁目4番3号
資本金	8,000万円(当社の100%子会社)
法人設立	平成16年9月1日
従業員数	5名

植物	漢名	学名
人参	ジンセン	サトウハチロー
アロエ	アロエ	アロエ
アロエ	アロエ	アロエ

[事業内容]

- ・全国紙、地方紙、雑誌などへの広告出稿代理
- ・テレビ(BS、CS、地上波) ラジオへの広告出稿代理
- ・各種販促物の企画・制作
- ・健康情報番組、TVCM等の企画・制作
- ・インターネット番組企画・配信



2007年8月期 第3四半期決算概要



2007年8月期 連結 第3四半期の状況

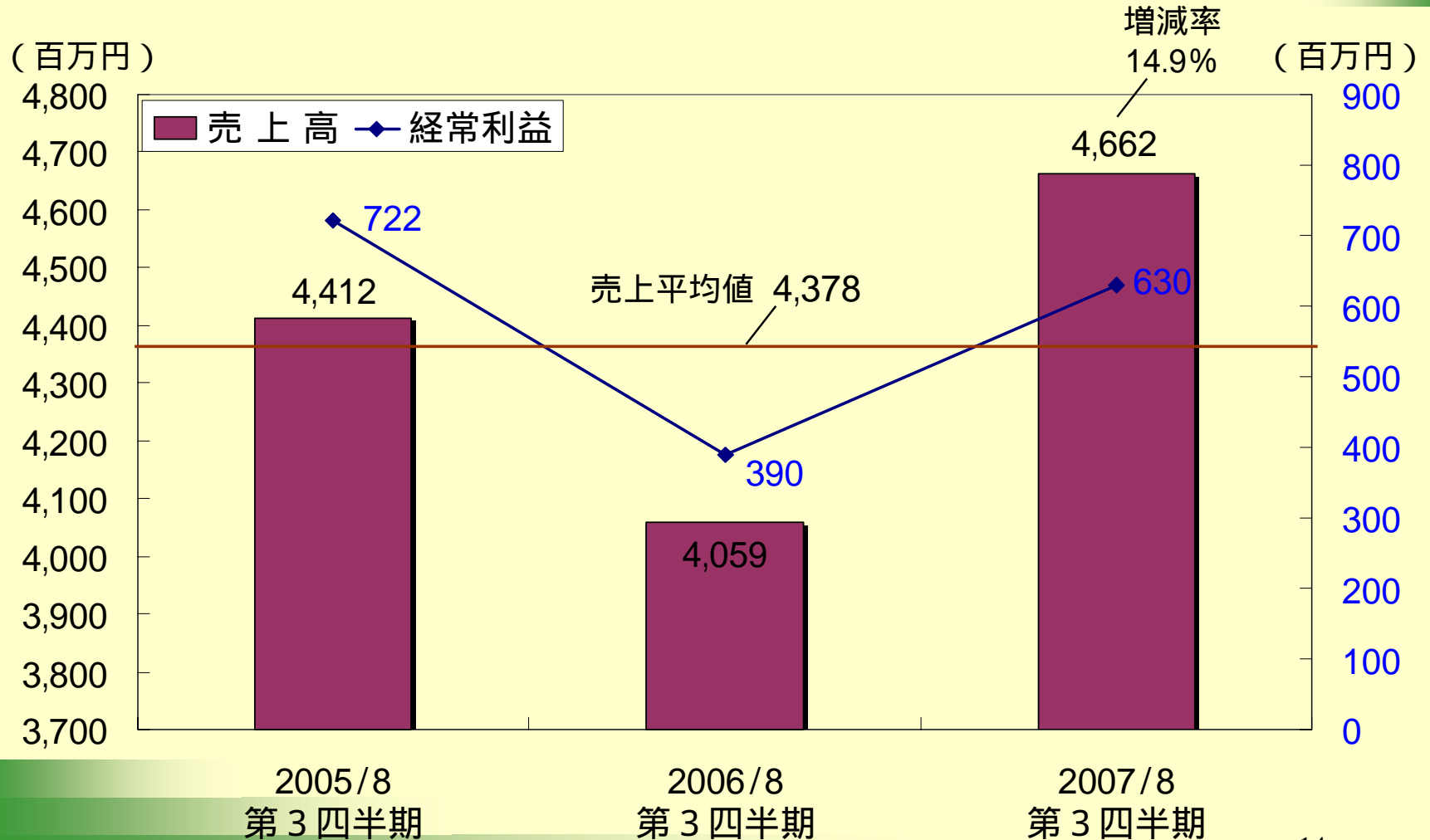
2005年～2007年 連結 業績比較表

(百万円)

連結	2005/8月期 第3四半期	2006/8月期 第3四半期	2007/8月期 第3四半期	増減率
売上高	4,412	4,059	4,662	14.9%
営業利益	768	385	420	9.1%
経常利益	722	390	630	61.3%
経常利益率	16.4%	9.6%	13.5%	-

投資有価証券の運用収益、2006/8月第3四半期 3(百万円)、当第3四半期 168(百万円)

連結 第3四半期 業績推移



2007年8月期 単体 第3四半期の状況

2005年～2007年 単体 業績比較表

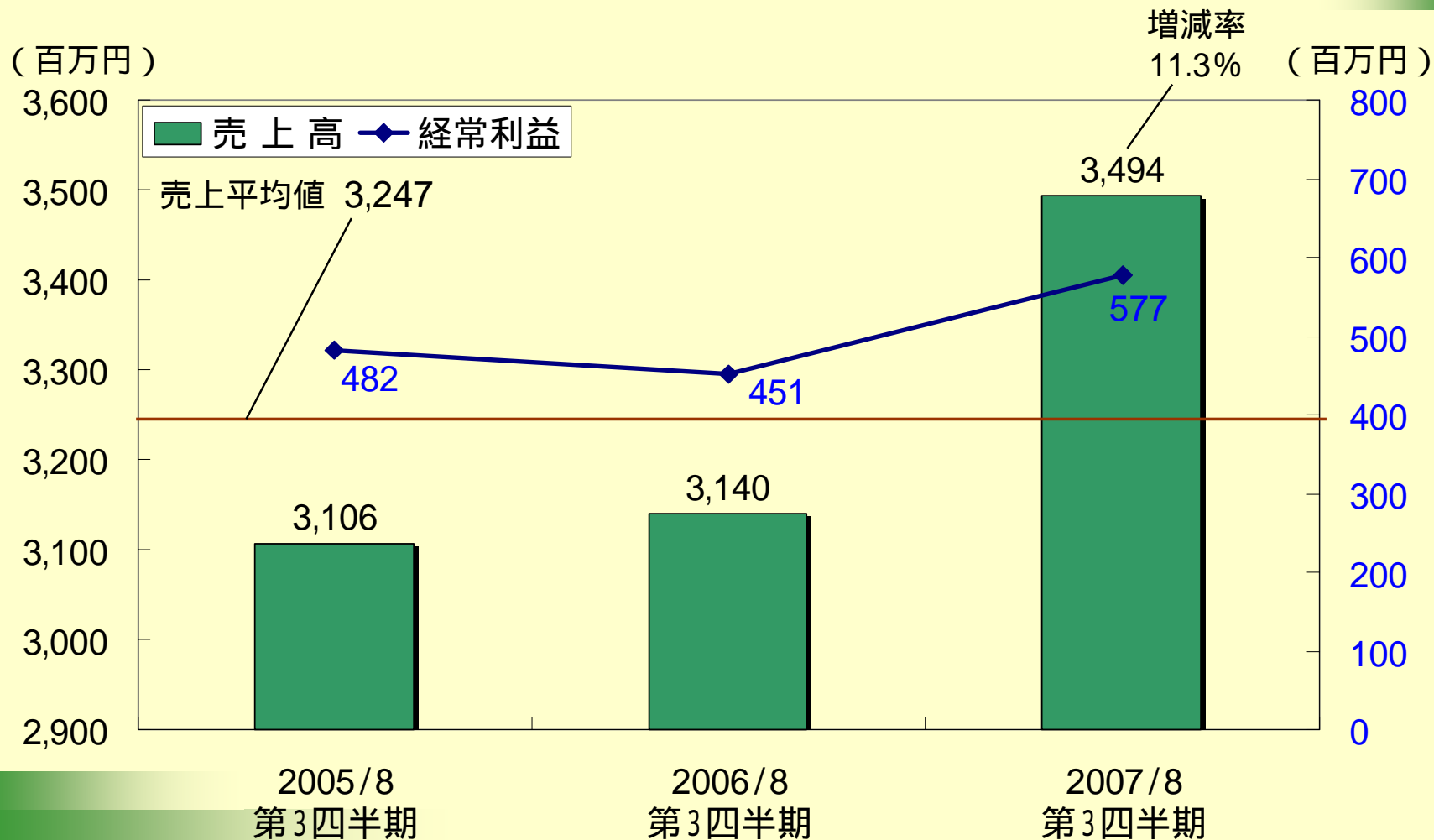
(百万円)

単体	2005/8月期 第3四半期	2006/8月期 第3四半期	2007/8月期 第3四半期	増減率
売上高	3,106	3,140	3,494	11.3%
営業利益	524	440	¹ 349	20.5%
経常利益	482	451	² 577	28.1%
経常利益率	15.5%	14.3%	16.5%	-

1 営業利益が減少した要因は、第2工場を100%子会社AFCに移管したため。

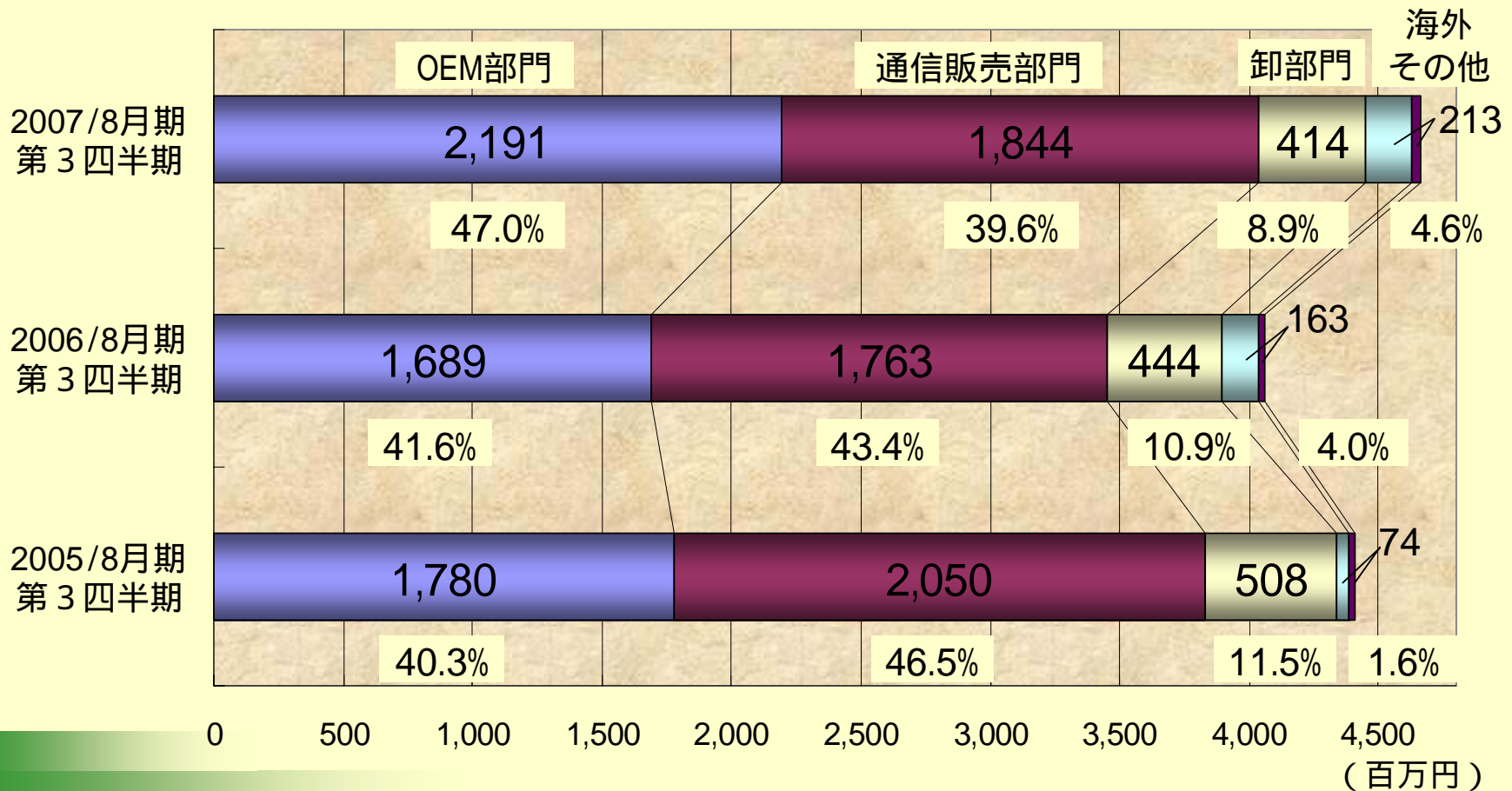
2 投資有価証券の運用収益、2006/8月中間期 3(百万円)、今期 133(百万円)

単体 売上高 第3四半期業績推移

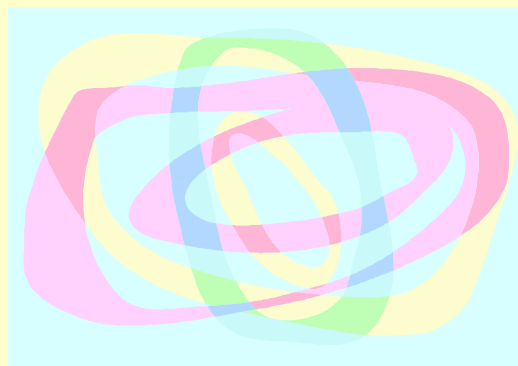


AMSグループ売上構成比

第3四半期 前年同期比較

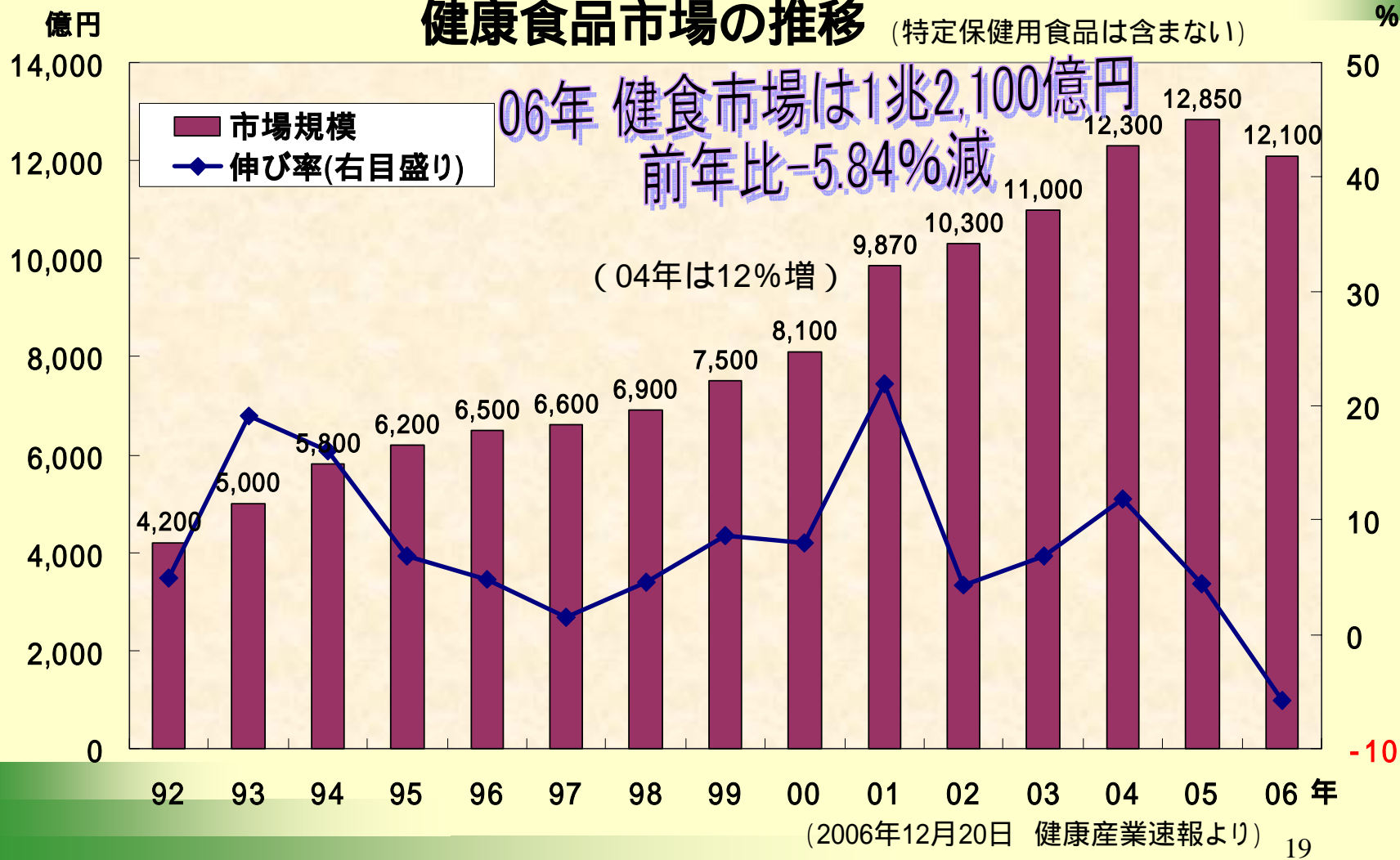


業界動向について



業界動向

健康食品市場の推移 (特定保健用食品は含まない)



業界の現状

背景	少子高齢化、生活習慣病の増加	
市場拡大 ↓ 新規参入	医療費自己負担の増加 メタボリックシンドローム (生活習慣病の予備軍)	セルフメディケーション 予防意識の高まり 対策に厚労省も積極的
マイナス要因 プラス要因	行き過ぎたメディア報道、風評被害等 食の安心・安全への関心の高まり	一時的な健食離れ 業界の浄化・整備



「治療から予防へ」という人々の意識の変化
健康長寿への想いは永久不変のテーマ
アムスグループの事業の方向性と合致



経営戦略



2007/8月期 連結 通期業績予想

(単位：百万円)

	2006/8月期 実績	2007/8月期 予想(修正前)	2007/8月期 予想(修正後)	対前期 増減率
売上高	5,459	6,700	7,000	28.2%
経常利益	483	650	700	44.9%
当期純利益	287	350	400	39.3%

今期、本草製薬(株)及び(株)正直村の業績が連結されるのは、6月から8月までの3ヶ月間です。

アムスグループの経営方針

グループビジネスの基本テーマは、「自然・健康・美」

アムス本体はOEMメーカーですが、グループ企業が一体となってテーマの具現化に取り組む

正直村の加入により、自然へのこだわりを基本としたテーマ実現に必要な体制が整う

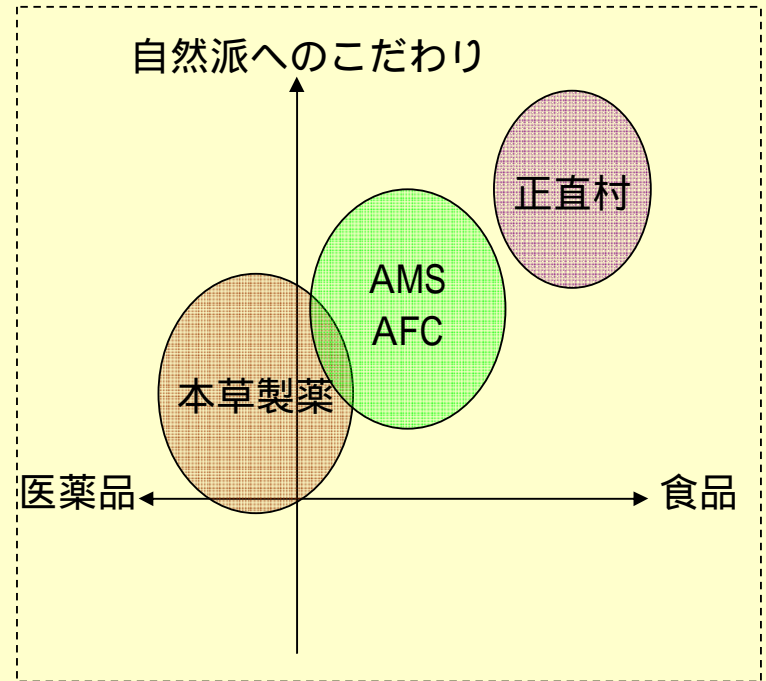
各社の役割とポジショニングは次の通り

自然派基本食材の提供 … 正直村

伝統製法と、無農薬・減農薬・無添加を基準に、健康・安心・環境に優しく配慮した、おいしい自然食品をお届け

栄養補助食品及び自然派化粧品の提供 … AMS
AFC

漢方薬の提供 … 本草製薬





アムスライフサイエンスの経営戦略

1. 前期に引き続き、新規取引先の開拓を推進

2. 大都市圏(東京、大阪)以外への売り込みを強化

3. 化粧品のおEM先を積極的に開拓

4. 本草ヘルスケア部門(健食)の製造サポート



エーエフシーの経営戦略

1. 化粧品分野への本格的進出

通販部門において、従来は熟年層をメインターゲットにした健康食品を中心に販売してきたが、30代40代の女性をターゲットにした、化粧品の商品開発、販売を行う。

2. 新規販売媒体の開発

通販部門において、従来は新聞広告で新規顧客を開拓し、DMでリピート売上げに繋げる方法を主としてきたが、けんこうTVと連携し、テレビ、インターネット媒体を活用した販売戦略を計画。

3. 本草製薬との連携

新たにAMSグループに加わった本草製薬と連携することにより、漢方の技術を取り入れた新商品の開発、一部医薬品を含めた漢方関連商品の販売。
AFCの卸事業部を本草側に移管することによって、効率化を図る。



海外事業展開

台湾(ユーセン社)の市場にて拡販中

シンガポール(ライフストリーム社)市場にて、AFC商品販売スタート
ベトナム、ロシア、韓国への新規ルートを開拓中



シンガポールでの販売開始
(2007/3月より 40店舗)

台湾での販売展開
(2006/9月 160店舗 2007/4月 200店舗)

1. 漢方医療機関への再開拓

販売強化を図るべく各支店組織体制の再構築
 医療用、一般医薬品を取扱う既存得意先(約9,000件)に対し有効顧客の見直し
 医師・薬剤師等に対する正しい情報提供

2. 一般用医薬品の再開発

漢方便秘薬、生薬便秘煎、小児用かぜ内服液 等の新製品を上市する予定
 ゼリー化商品の開発研究
 エキス含量の均質性の検証及び高濃度の研究

3. 販売網の拡張

海外進出・卸・通販事業への新規開拓

4. 製造設備・機器の導入

製法等改良に伴う新規製造設備の導入検討

5. 製造原価低減の見直し

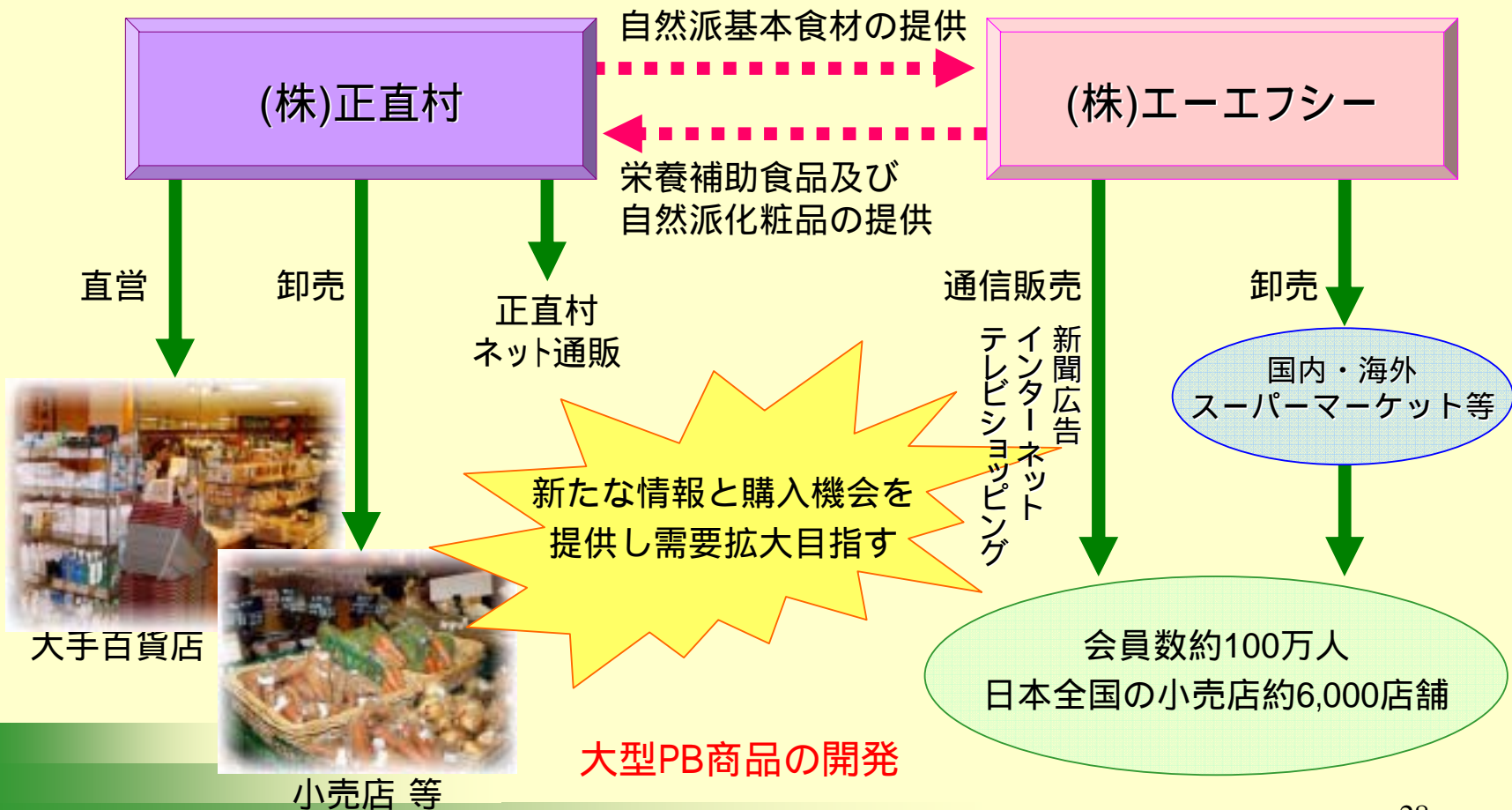
5%削減を目標とする





正直村の経営戦略

グループ各社が連携して、認知度アップと販路と顧客の拡大



PB = プライベートブランド

onyk 日本予防医学研究所の経営戦略

医療機関市場でのヘルスケア商品の市場拡大

1. 製剤研究

- ・ 高含有・高濃度化製剤への応用研究
筋骨草エキス配合グルコサミン（7月発売）
- ・ 微粉碎技術を応用した製剤化研究（独自技術の確立）
茶流青汁（7月発売）



2. 商品開発

- ・ 本草製薬との共同開発商品の上市（市場拡大）
漢方素材を商品コンセプトにした商品開発
- ・ 微粉碎技術商品の開発・上市（体感商品）
溶解度、吸収率、喉越しを向上させた商品開発



3. 科学的検証

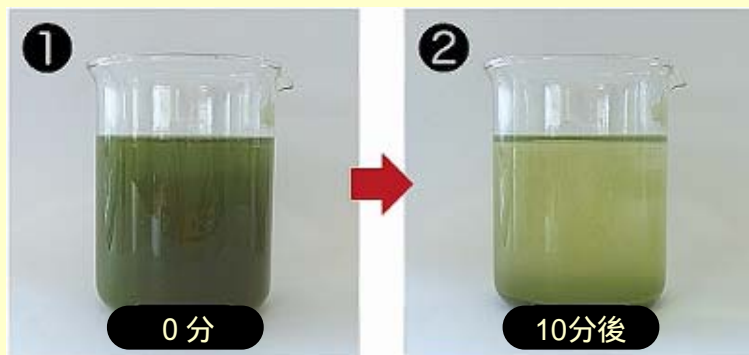
- ・ 有力開発商品群の有効性に関する検証（動物/ヒト試験）
- ・ 微粉碎技術商品の有効性・安全性の検証（動物/ヒト試験）
用途特許 / 製剤特許の取得



onyk 微粉碎 前後比較

大麦若葉による粉碎比較実験

微粉碎前

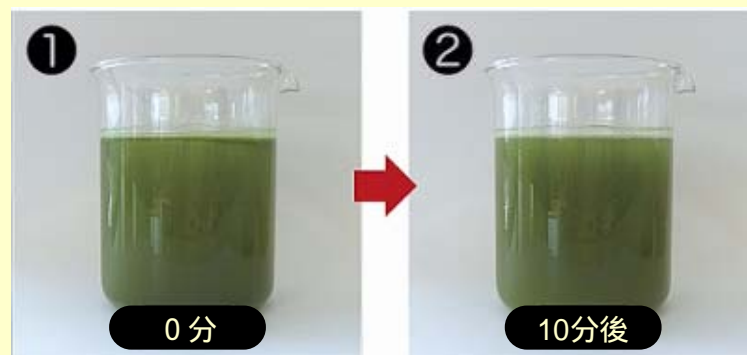


微粉碎前の大麦若葉末の顆粒品を水に混合し10分間放置し、分離状態を確認した。

均一に混合されている状態。

水と大麦若葉が明らかに分離している状態。

微粉碎後



微粉碎後の大麦若葉末の顆粒品を水に混合し10分間放置し、分離状態を確認した。

均一に混合されている状態。

10分経過しても均一な混合状態を維持。



けんこうTVの経営戦略

1. 広告代理事業

常に広告効率を意識しながら、クライアントにあわせたタイムリーな媒体を提供する。



2. 映像制作・制作プロダクション事業

CS、BS、インターネット等でのショッピング番組の企画制作。制作プロダクションとして、外部からの映像メディア制作も積極的に取り込み基盤固めをしていくのと同時に、制作品質を向上させていく。

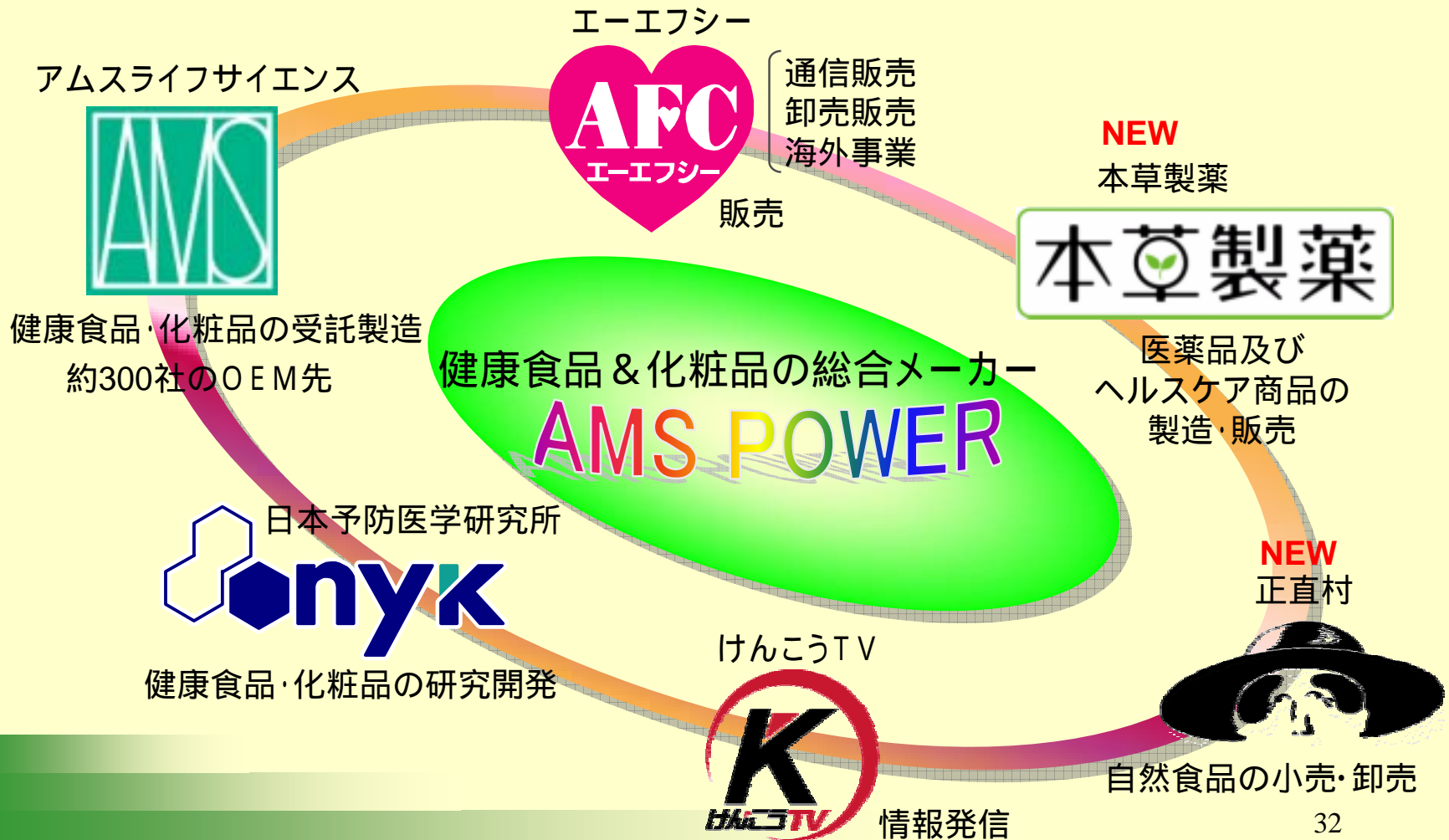


3. 健康情報発信

幅広い層に受け入れられる健康情報のポータルサイトの構築。WEB動画ならではの特徴を生かし、健康・美容に関するホットな情報を動画を交えて制作。本草製薬(株)の監修の基、生薬辞典のコンテンツを加えた。今後独立した漢方情報サイトに発展させていく予定。あらゆるメディアを駆使しての情報発信。医療機関向けフリーペーパーの発刊を予定

10月から順次 全国に、約25万部を配布予定

6つのパワーによりシナジーを発揮して 健康産業のリーディングカンパニーを目指します





本資料に関するお問合せ

株式会社 アムスライフサイエンス

社長室

TEL : 054-281-5238

FAX : 054-281-5979

E-mail : ir-ams@ams-life.com

Home Page : <http://www.ams-life.com/>